

編集後記

▽『禅研究所紀要』第四十七号をお届けします。

▽本年度は、春学期に東洋大学文学部教授の渡辺章悟先生をお迎えし、また、秋学期には名古屋大学名誉教授、龍谷大学名誉教授の宮治昭先生をお招きして、それぞれ講演会を開催しました。ご講演くださいました両先生に感謝申し上げます。

▽本号には、渡辺先生と宮治先生のご講演録を掲載するとともに、元所員の伊藤秀憲先生と研究員四人による計五編の研究論文を収載することができました。ご執筆くださいました先生方に深謝申し上げます。

▽口絵の大空玄虎禅師の写真は、本年三月に禅籍調査旅行にて拝登した三重県度会郡玉城町広泰寺で撮影したものです。

▽本年度の参禅会研修旅行は新潟県を訪れました。佐渡島では総源寺を拝登するとともに金山関係の遺跡を見学し、中越地方では雲洞庵を拝登するとともに、石川雲蝶の作品を見学しました。また、小栗山木喰観音堂では、地域の方々が大切に守られてきた木喰仏を直接抱かせていただくという、貴重な体験ができました。関係者の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

▽平成二十七年の禅研究所開所五十周年記念事業において事務局補佐を務められ、平成二十八年より嘱託研究員として勤務されました大橋崇弘先生と山端信祐先生が、本年三月末日をもって任期満了となります。四周年にわたるご尽力に心より謝意を表します。

▽本年五月には皇位の継承と改元が予定されています。したがって、本号が「平成」年間における最後の『禅研究所紀要』となります。新しい時代にも、禅研究所の諸活動へのご指導とご協力をお願い申し上げます。

▽末筆ながら、本号の刊行にあたり、ご尽力くださいました関係各位に、心より御礼申し上げます。

(編集委員 木村文輝)

禅研究所紀要(第四十七号)

平成三二年三月一六日 印刷 (非売品)
平成三二年三月三一日 発行

発行責任者 岡 島 秀 隆

発行所 愛知学院大学禅研究所

愛知県日進市岩崎町阿良池二
電話(〇五六)七三一―二一(代
郵便番号 四七〇一―一九五

印刷所

株式会社 あ る む
名古屋市中区千代田三―一―二
電話(〇五)三三三―〇八六一
郵便番号 四六〇一―〇〇二二